

朝日山だより

横並びでのダンボール細断作業



社会福祉法人 あさひ会

生活介護事業所 朝日山学園・グループホームあさひ
ヒューマンサポートタッチ

佐賀県東部発達障がい者支援センター結

〒841-0073 佐賀県鳥栖市江島町字西谷3300-1

TEL (0942) 84-3266

(0942) 81-5409 (支援室直通)

FAX (0942) 84-3286

E-Mail : asahiyaama@grace.ocn.ne.jp

『巻頭ご挨拶』

朝日山学園 管理者 高取 正憲

皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか？世界的に新型コロナウイルスが猛威を振るい、長期の外出自粛を経て、現在、自粛解除、徐々に経済活動は戻りつつあると同時に各所で感染者が増加してきている現状があります。

当法人においても4月に入りGHで熱発者が出る等が見られ、幸いPCR検査の対象には至らずに済みましたが、用心の為にGH利用を制限する対応を取らせていただきました。また、保護者に関しても館内への立ち入り制限等の措置を取らせていただきました。利用者にとっても外出を控える、行き先を制限する等、我慢を強いることが多く、ストレスが溜まったことと思います。スタッフにおいても目に見えない新型コロナへの感染が心配される中での利用者支援に尽力いただき本当に感謝しております。

今後も新型コロナウイルス感染の心配は続くものと思われ、日々の検温、マスク着用、手指消毒、3密を避ける等を守りながら、慎重に、そして利用者の気持ちに寄り添いながら利用者支援に取り組んでいきたいと思っております。皆様のご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

新型コロナウイルスから話は変わりますが、6月に利用者のAさんがご病気で亡くられるという、とても悲しい出来事がありました。以前、私が宿直で入浴介助をしている時にAさんの好きな歌を歌ったりしておりましたので、2日前の昼食で一緒になった際に「最近一緒にお風呂に入って歌っていませんね、また一緒にお風呂で歌いましょうか？」と声をかけ「うん」と返事をされました。これが私との最後のやり取りでした。一度、ご病気で入院され、何時かこのような日が来るかもしれないことは覚悟しながらも、保護者からも「それまで日々を楽しく過ごしてほしい」との願いもあり、出来る限りの支援をさせて頂きました。しかし、あまりに突然で、当日対応して頂いた方も含め、スタッフは皆、直ぐに現実を受け入れることは難しかったようです。



私もAさんと23年間過ごした中で数々の思い出があり、その一つ一つにAさんの笑顔が思い出されます。お通夜の時に保護者様から「あさひ会で良かった」との言葉を頂きました。スタッフの日々の支援の賜物だと思います。これからも利用者一人ひとりに喜んで頂けるよう支援していくことが私たちの使命だと思っています。これからも天国で私たちあさひ会の支援を見守っていて下さい。謹んでAさんのご冥福をお祈り致します。今まで「たくさんの笑顔」ありがとうございました。

～日中支援の現場から～

『Y氏の花の水やりの取り組みについて』

朝日山学園 支援員 有働 寿美子

Y氏の日中の役割として、洗濯物の運搬と花の水やりを行っています。

洗濯物の運搬は、洗濯物が入った籠をY氏に指定された椅子まで運んでいただき、次に他の利用者K氏が洗濯機へ運搬するという連携した活動になっています。お互いに運搬の役割には毎日取り組んで頂き、Y氏も目的の場所まで籠を運ぶと、椅子の上にゆっくりと慎重に置いてくれます。そして花の水やりでは、ジョウロの先を装着したペットボトルを持ってもらい水やりを行いますが、なかなか上手く手首を返し、ペットボトルを押すことができません。スタッフがほとんど介入し水やりを行っていました。



そこでケース会議にて、スタッフ全員で改善策を話し合いました。その結果、Y氏が水やりに取り組みやすいように補助具を使用したらどうかとの意見もあり、早速補助具の作成に取り掛かりました。補助具は、受け皿に水を入れるだけで、受け皿の底に無数の穴が開いており、シャワーのように水が出て、一帯に水を撒くことができる物を作成しました。

今は第一段階として、補助具の受け皿まで水を入れる容器を持って行き、補助具と容器をマッチングする動きに取り組んでいます。誘導のタイミングは、Y氏が受け入れやすいように園外散歩から戻り、車から降りた

流れで行っています。最初は、容器を口に持って行ったり、地面に投げたり、なかなか上手いきませんでした。6回目にして、ご自分でマッチングできるようになりました。しかし、梅雨の時期に入り、水やりの間が空き、久しぶりに行くとまた振り出しに戻ります。様々な状況下であっても、コツコツと経験を積んで習慣化できるようにスタッフ一同取り組んでいき、今後学園での取り組みがGHでの役割に繋がっていき、日々の支援を大事にしていきたいと思っております。

～朝日山学園分場から～

『分場でのH氏の役割について』

朝日山学園 支援員 田中 由美子

早いもので分場が開始され、半年が過ぎました。始めは中に入るのを躊躇されていた方も少しずつ環境にも慣れ、利用者の方達と一緒に活動に取り組む姿が見られるようになりました。また、それぞれの座る場所、お気に入りの椅子も決まってきたようです。

分場では天気の良い日は近くを散歩し、適度な運動を行っています。利用者の方たちも移り変わる景色を見ながら、ご近所の方々に挨拶を行い、元気良く歩かれています。新型コロナウイルスの影響で分場の休みが続き、久しぶりに散歩に出た時、ご近所の方から「お久しぶりです。」と声を掛けられ、少しずつ地域の方々に認知されているのだなと感じました。

また、分場ではグループの中心的存在である H 氏をリーダーに活動に取り組んでいます。散歩では H 氏を先頭に、他の利用者の方も歩いています。また、作業では、他の方の作業準備を行ってもらったり、休憩時も一人ひとりにお茶を配ってもらったりしています。まだまだ、スタッフが声掛けをかけながら H 氏にお願いすること



が多いですが、先日は自らお盆を持ってお茶を配ろうとする姿が見られたので、とても嬉しく思いました。

H氏が他利用者を意識し、役割を持つことで自信を持ち、他利用者もH氏をリーダーと意識することで、お手本にし、共に成長していけたら良いなと感じます。その為には、分場が楽しい所、安心出来る場所である事を根底に、一人ひとりに合った取り組みが出来るように支援していきたいと思えます。

～グループホームあさひより～

『新型コロナウイルス感染による自粛規制の中での生活』

GH あさひ 主任補佐 清水 顕

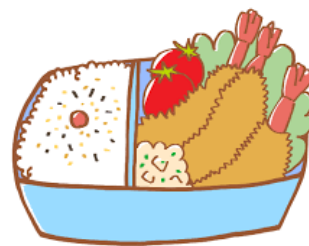
世界的な惨劇に見舞われている新型コロナウイルス感染の中、障害を有する利用者の方にも「集団生活」という環境の中で様々な弊害が出てきています。「新型コロナウイルス」というものをどこまで理解できるか、そのことでどんな事が今後起こり得るのか、イメージや理解が困難な方にとって、余暇、受診、帰宅、外出など外部の施設を利用する事はもちろん、社会資源の活用さえも制限が生じ、支援する側の私たちも不便さを痛感しています。

余暇の外出においては利用者の方の楽しみであり、生活や活動のモチベーションを保つものでもあります。ある利用者の方は、毎日の日中活動の報酬としてシールを貯めてヘルパーと外出を行います。しかし、今回は自粛規制の為、外出の内容を変更しないといけない状況になりました。外出を自粛するという事は、本氏が望む報酬を受けられない事に繋がってしまいます。そのため、現状の中で何が出来るかを考え、以前から希望が出ていたGHでバーベキューをする事を提案しました。新型コロナウイルスに関する社会情勢を漠然と感じられているような様子もあり、自身も控えた方が良いのではと考えられていた為、提案を受け入れる事ができ、外出せずGHでのバーベキューの実施



に至りました。

他には、昼食をテイクアウトしてGHで食べる方もいらっしゃいました。外出する為にはマスクの着用が必要になりましたが、その方はマスク着用の経験が少なく、マスクを着用すると息苦しく感じる等、抵抗感がありました。その為、「マスクを着用することができないなら外出はできない」旨を伝えさせていただき、食事のみテイクアウトで購入されることを了承されました。いずれにしても、代替えの案は、一時的な受け入れはできても長く続くことが難しくなります。



一方で、公園などの人が密にならない場所に歩いて行き、お弁当を食べる外出は今まで通り継続されている方もいます。外出する場所や内容によっては、今まで通りの余暇を楽しむことができる方もいれば、変更せざるを得ない方もいます。どうしても「余暇＝外出」、「楽しみ＝外出」という風に考えてしまいがちですが、余暇の外出は毎日あるわけではありません。今後は、「GHでの生活の中に、どうやってそれぞれに楽しみを見つけ、どのように過ごしていただくか」を課題としていく必要があります。

これからは、普段の生活の中に楽しめる要素を増やしていくことが必要であると感じています。余暇の外出という事に捉われなくても済むような、日常生活の中で利用者の方にあつたGHでの楽しみ方をスタッフみんなで考えていけるようにしたいと思います。



～保護者より～

『GHあさひでの生活をとおして』

「Hと話をして・・・」

利用者Hさん保護者

朝日山学園と縁が出来て8年。GHあさひに入所して4年目になります。私が週末会いに行くと、「皆、私に良くしてくれるのよー」と教えてくれました。入浴も着替え等もほぼ全介助。事故以来、左に少し麻痺が残り車いす生活。GHあさひでは、創作活動や新聞織り、洗濯物畳み等、リハビリも兼ねて取り組んでいます。本人にとっては、少しでも人の役に立

てることが喜びの一つです。

ある時、「私が創作活動の作品を人にあげるのは、これぐらいしかお礼できないから」と教えてくれ、本人なりに感謝の気持ちを伝えている事が嬉しくなりました。これからも、その気持ちを大切に、明るく元気に生活してほしいと思います。多方面に渡り、配慮し生活を支えて頂いている方々に感謝です。

「GHに入って・・・」

利用者Oさん保護者

学園で、共に日中活動に取り組んでいる仲間と、降園後はGHで生活をするようになって、早いもので3年が過ぎました。

思い返すと、初日から暫くは、親は心配、子は不安な毎日が続きました。今では、日々の暮らしの流れが自然に身に付いてきたようです。食事は完食、夜はぐっすり眠っていると聞かされ、支援スタッフやヘルパーさんには、本当に心から感謝です。安心してお任せできるようになりました。

週末は、自宅に帰る為、迎えに行くのですが、息子は家に帰ることより車に乗れることの方が嬉しいようです。休日2日間は、朝から夕方まで大好きな車に乗って満足するまで親子でドライブを楽しむ事にしています。車内でCDを聞きながら楽しく親子で過ごし、行った先で散歩をしていると、知らない人にやさしく声をかけられて出会いもあります。

まだまだ元気なうちに後悔の無いよう思い出を沢山作っていかうと思っています。月曜日から学園・GHで元気に過ごし、今の笑顔がずっと続くことを願っています。

～行事報告～

『GW祝日企画』

支援員 稲富 敏之

例年、GW連休は、祝日企画と称してカラオケ大会や創作活動等、利用者が普段なかなか行えない活動を企画しています。しかし、昨今、新型コロナウイルスへの対策が叫ばれる中、今年度の祝日企画は密集化を

避ける為、グループを4つに分け1日1グループ少人数制で実施しました。企画内容は、各グループごとにスタッフが知恵を絞り、今回その中でも洗車活動について紹介したいと思います。

6名のグループを午前、午後3名ずつに分け、3密にならない様注意しながら、それぞれの特性や得意分野を生かせる役割分担で行いました。

R氏は他の利用者の方が車に水をかけてもらった後、雑巾を渡し、スタッフがモデルとなって見本を見せると車体の側面や前方をととても丁寧に拭かれています。普段からGHあさひでお風呂掃除をしっかりとされているので、やはりその持っているスキルが洗車にも活かされているのが見て取れました。



I氏は、初めての試みで車内マットの清掃を粘着カーペットクリーナーを使用して行いました。スタッフが身振り手振りで伝えると前後では無く、前方から手前に引く動きが見られ、「こういう手の使い方をされるのか」と新たな発見でした。

K氏は以前、洗車の時あまり受け入れが良くなかったのですが、初めにホースで水を車全体にかけてもらおうと満面の笑みを浮かべ、水を楽しそうにかけられ、その後もハンドブラシで車体を磨いたり、雑巾で車体を拭くことが出来ました。



今回の洗車活動を通して感じたことは、それぞれの特性は個性であり、また利用者の方それぞれの「自分らしさ」を発見できた取り組みだったことです。今後の様々な場面で生かしていきたいと思います。

☆ボランティア募集しています

朝日山学園・GH あさひでは、利用者の皆さんと一緒に散歩や作業をして頂ける方、お話し相手になって頂ける方を募集しています。皆様よりのご連絡をお待ちしています。



性別、年齢は問いません。日常のちょっとした時間を利用者の方と過ごして頂けませんか？スタッフが優しくサポートさせていただきます。

- ◆朝日山学園：平日/散歩の付き添い、お話し相手、作業、食事のお世話 等々
- ◆GH あさひ：土日/散歩の同行、お話し相手、食事、入浴のお世話 一緒に創作活動をしたり運動の相手役 等々

(朝日山学園支援室 Tel：0942-81-5409 担当 橋口)

◎寄付者ご芳名 (令和2年2月～8月)

天本 清香 様 ・ 末藤 久美子 様 ・ 鈴木 宗平 様
中島 竹子 様 ・ 福島 ツル子 様 ・ 横田 研治 様
匿名 様 ・ 井樋 正弘 様 (食材)

佐賀カントリー倶楽部チャリティゴルフ大会有志一同 様

特定非営利活動法人アジアパシフィックアライアンス・ジャパン様
(マスク)、ローエン・ハラ 様 (手作りマスク)

以上の皆様にご支援いただきました。

ありがとうございます。



◎社会福祉法人 西日本新聞民生事業団様より 助成頂きました

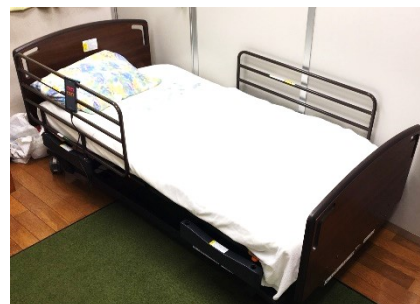
車椅子を使用する利用者の方が横臥される際、これまでは通常のベッドを使用しておりました。

電動ベッド導入で、移乗の際の利用者の身体的・精神的負担や職員の負担軽減が出来ております。誠にありがとうございました。

導 入 品：アルティレット介護施設用
 電動ベッド（P109-26AA2）
 サードレール、ユービーポイント
 マットレス

導入費用：166,100円

助成額：150,000円



▣編集後記

新型コロナウイルスの影響により、今までと違う生活スタイルを意識する日々が続いています。利用者の方は外出や活動の制限等があり、「なぜ外出できないのか」「いつから外出に行けるのか」といった不安な気持ちを抱えながらの生活になっていると思います。このような状況の中、「気持ちに寄り添う」事がより大切になると感じています。これからも、支援する事の意味や役割を考え、利用者の方の不安な気持ちを少しでも和らげ、生活の支えになれるように取り組んでいきたいと思っています。

（田中）

◎4～8月行事等【朝日山学園】

4月	3,17	ケース検討会	7月	3,17, 31	ケース検討会
	14	虐待防止委員会		10	ケース会議
	10	ケース会議		15	誕生会、
	15	誕生会		16	献立会議
	16	献立会議		21	虐待防止委員会
	24	ケース会議、職員会議		8月	7,21
6月	2	誕生会	13~14		夏期休暇
	5, 19	ケース検討会	19		献立会議
	12	ケース会議	24~		社会福祉実習
	24	虐待防止委員会	9/28		
	26	ケース会議、職員会議	26		誕生会
			28	ケース会議、職員会議	

*ホームページでは表紙以外の写真もカラー表示したものがご覧頂けます。

<令和元年度 決算報告>

○詳細は、電子開示システムをご覧ください。

貸借対照表

令和2年3月31日現在

社会福祉法人あさひ会

(単位:円)

資産の部		負債の部	
勘定科目	当年度末	勘定科目	当年度末
流動資産	125,292,494	流動負債	33,439,336
現金預金	81,275,388	事業未払金	22,879,628
事業未収金	34,592,732	1年以内返済予定設備資金借入金	2,688,000
貯蔵品	8,848	預り金	78,711
立替金	6,714,221	職員預り金	704,513
前払金	895,000	賞与引当金	7,088,484
前払費用	1,792,305		
前払費用	14,000		
固定資産	368,174,797	固定負債	29,568,000
基本財産	232,188,067	設備資金借入金	29,568,000
土地	65,315,716		
建物	166,872,351		
その他の固定資産	135,986,730	負債の部合計	63,007,336
建物	9,207,962	純資産の部	
構築物	12,995,429	基本金	149,172,638
機械及び装置	2,139,800	国庫補助金等特別積立金	83,815,886
車輛運搬具	2,444,726	その他の積立金	89,584,720
器具及び備品	12,316,717	人件費積立金	31,500,000
権利	1,491,126	修繕積立金	16,700,000
ソフトウェア	2,290,923	備品等購入積立金	7,884,720
投資有価証券	288,786	施設整備等積立金	17,500,000
人件費積立資産	31,500,000	設備整備借入金返済積立金	16,000,000
修繕積立資産	16,700,000	次期繰越活動増減差額	107,886,711
備品等購入積立資産	7,884,720	(うち当期活動増減差額)	-17,985,914
設備整備借入金返済積立資産	17,500,000		
施設整備等積立資産	16,000,000		
長期前払費用	2,863,043		
その他の固定資産	363,498	純資産の部合計	430,459,955
資産の部合計	493,467,291	負債及び純資産の部合計	493,467,291

事業活動計算書

(自)平成31年4月1日 (至)令和2年3月31日

社会福祉法人あさひ会

(単位:円)

		勘定科目	当年度決算(A)		
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	6,173,930		
		障害福祉サービス等事業収益	211,563,201		
		経常経費寄附金収益	517,928		
		その他の収益	9,000		
		サービス活動収益計(1)	218,264,059		
	費用	人件費	190,455,167		
		事業費	22,881,043		
		事務費	15,064,679		
		減価償却費	21,240,465		
		国庫補助金等特別積立金取崩額	-6,390,998		
		サービス活動費用計(2)	243,250,356		
		サービス活動増減差額(3) = (1) - (2)	-24,986,297		
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	23,758		
		投資有価証券評価益			
		その他のサービス活動外収益	2,338,608		
		サービス活動外収益計(4)	2,362,366		
	費用	支払利息	117,988		
		投資有価証券評価損	146,279		
		その他のサービス活動外費用	1,303,469		
		サービス活動外費用計(5)	1,567,736		
				サービス活動外増減差額(6) = (4) - (5)	794,630
				経常増減差額(7) = (3) + (6)	-24,191,667
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	150,000		
		その他の特別収益	6,405,441		
		特別収益計(8)	6,555,441		
	費用	固定資産売却損・処分損	199,688		
		国庫補助金等特別積立金積立額	150,000		
		特別費用計(9)	349,688		
		特別増減差額(10) = (8) - (9)	6,205,753		
		当期活動増減差額(11) = (7) + (10)	-17,985,914		
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		116,161,625		
	当期末繰越活動増減差額(13) = (11) + (12)		98,175,711		
	基本金取崩額(14)		500,000		
	その他の積立金取崩額(15)		10,211,000		
	その他の積立金積立額(16)		1,000,000		
	次期繰越活動増減差額(17) = (13) + (14) + (15) - (16)		107,886,711		